

宮城県保険医協会
第21回子育て支援シンポジウム

『発達障がい児への理解と支援に向けて
～「点」から「線」そして「面」へ～』

今、障がいを持つ子どもたちを取り巻く環境を一緒に考えたいと思います。専門職や子育てでお悩みの親御さん、関心ある方の参加をお待ちしています。

日時 2024年 2月4日(日) 10:00～12:00

開催方法 Web配信のみ (Zoomウェビナー使用)

参加費
無料

※1月31日(水)までにお申し込みください!

【コーディネーター】河瀬聡一郎氏 (石巻市雄勝歯科診療所所長)

【話題提供者 (順不同)】

高橋立子氏 (東北文化学園大学総合発達研究センター
附属国見の杜クリニック院長)

佐々木健太郎氏 (尚絅学院大学総合人間科学系教育部門准教授)

伊藤あづさ氏 (保護者)

参加ご希望の方は、裏面の注意事項をお読みいただき、
当会ホームページからお申し込みください。



後援:宮城県、宮城県教育委員会、仙台市、仙台市教育委員会、(公社)宮城県医師会、(一社)宮城県歯科医師会、
(一社)仙台市医師会、(一社)仙台歯科医師会、仙台市小児科医会、(公社)宮城県看護協会、(一社)宮城県助産師会、
宮城県ユニセフ協会、(公財)仙台YMCA、NHK仙台放送局、ミヤギテレビ、仙台放送、khb東日本放送、tbc東北放送、
河北新報社、読売新聞東北総局、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、エフエム仙台

主催・
お問い合わせは

宮城県保険医協会

〒980-0014 仙台市青葉区本町2-1-29 仙台本町ホンマビル4F
TEL 022-265-1667 <http://miyagi-hok.org>



話題提供者

「小児科医が発達相談で大事にしていること」

東北文化学園大学総合発達研究センター付属

国見の杜クリニック院長 高橋立子氏

“発達が気になる”こどもたちを早期から病院で診てもらおうというニーズが高くなっていると感じています。しかし、発達障害の診断は、身体の疾患におけるそれとは異なり、そのこどもが病院でみせる姿以外の多くの情報をたぐり寄せながら、そのこどもの“行動”を、いくつかの類型にあてはめる“判断”に近いものと感じています。今回は、どのような視点でその“判断”をしているのか、を少しお話させていただき、こどもの発達を支える環境についても、元新生児科医からの視点も加え、お伝えしたいと思います。

「発達障がいをもつ子どもに対する教育的支援— 学校卒業後を見据えて大切にしたいこと—」

尚絅学院大学総合人間科学系教育部門准教授

佐々木健太郎氏

文部科学省の調査により、通常の学級に在籍する発達障がい、あるいは、その疑いのある児童生徒数の増加が報告されており、学校現場における支援の必要性がますます高まっています。診断の有無に関わらず、個々の特性に配慮した支援の在り方や、卒業後を見据えて学校時代に大切にしたいことについてお伝えします。

「特別な子ども・特別な未来…」

1%の希望から始まる「当たり前」

(保護者) 伊藤あづさ氏

眠らない・おっぱいを飲んでくれない・ピーナツはま〜るく並べて遊ぶだけ。そんな「特別」な子の母となって28年。理想とは違う子育ては戸惑いの連続でしたが、私にとっての「当たり前」がわが子の「当たり前」になって欲しいと願い続け、知的障害を合併する自閉症の息子は、今、親元を離れ就職をして、一人暮らしをしています。1%の希望から「当たり前」を諦めずに歩んだ先には、必ずその子その子の「特別な未来」が拓かれることをお伝えします。

申し込みにあたって(注意事項)



本企画はWeb配信（Zoomウェビナー）で行います。
当会ホームページ<http://miyagi-hok.org/>からお申し込みください。
(電話やFAXでのお申し込みには対応しておりません)
右のQRコードからも申し込み可能です。



参加申し込みページに「話題提供者に聞きたいこと」欄を設けました。
お聞きになりたいことがありましたらご記入ください。
時間の関係で全ての内容にふれられない可能性もあります。ご了承ください。



申し込み締め切りは1月31日(水)です。
申し込み直後、開催日の1日前と開始1時間前にご記入いただいたメールアドレスに、Zoom接続用のURLをお送りします。
こちらからお送りするメールを受信できる状態にしておいてください(万が一届かない場合はご連絡ください)。
ご記入いただいたメールアドレスはZoom利用の案内のみで使用し、その他の目的では使用しません。